



葦北鉄砲隊

芦北水俣管内において団体で初受賞！

◎もくじ (2012年4月号)

- | | | |
|----------------------|----------------------|-----------------|
| 2 葦北鉄砲隊「くまもと県民文化賞受賞」 | 12 子ども医療費／後期高齢者医療保険料 | 18 警察署／消防署 |
| 3 くまもと・オイスター／消防点検 | 13 介護保険料／芦北に残る文化遺産 | 19 書◇短歌／出生・おくやみ |
| 4 平成24年度予算 | 14 保健センターだより | 20 給食センター完成 |
| 8 まちのわだい | 15 町職員人事異動 | ／星野富弘美術館だより |
| 10 文化振興奨励賞・スポーツ賞交付式 | 16 お知らせ | |



▲クマモト・オイスターは一般に店頭で並ぶマガキよりも小型のカキ。正式名はシカメガキ

新たな特産品出荷
「クマモト・オイスター」が芦北町で養殖に成功し、3月12日から出荷が始まりました。
「クマモト・オイスター」は戦後、熊本からアメリカに輸出・養殖され人気となった高級カキです。県内では生産が途絶えていましたが、熊本県水産研究センターが平成21年に稚貝の大量生産に成功。昨年、天草市などから約半世紀ぶりに出荷をした幻のカキです。

新たな特産品を模索していた芦北漁協が2年前から養殖に取り組んできました。しかし、芦北漁協はこれまでカキの養殖に取り組んだことはなく、養殖方法についての情報が少なかったのが原因で、1年目はほとんどのカキが死んでしまい出荷できませんでした。1年目の失敗を教訓に、養殖に成功した苓北町へ視察研修に行き、情報や養殖技術を習得し、カキを洗浄したり海水温度を測定するなど念入りに取り組みました。その結果、約2,000個の養殖に成功しました。
初出荷を前に、3月6日、観光うたせ船休憩所で町内の旅館や飲食店の代表らを招き、試食会を実施しました。試食した参加者は「普段食べているカキよりも味が濃く磯のいい香りがする。海ミネラルをギュッと凝縮したおいしさ」と話していました。同漁協の八里組合長は「さらに養殖の研究を重ねて生産量を増やし、芦北町の特産品として売り出していきたい」と抱負を話しました。
店頭では1個約500円もするクマモト・オイスター。足赤エビや太刀魚などの芦北の海の幸に「クマモト・オイスター」という新たな特産品が加わりました。



▲475人の消防団員が結集しました



▲小型ポンプ操法の部 2位
第7分団（丸米、古石、高岡、豊岡、大川内）



▲小型ポンプ操法の部 優勝
第2分団（田浦、横居木）



▲規律競技の部 優勝
第8分団（白木、塩浸、天月、白石、告、大野、市野瀬、国見）

町を守る消防団 日頃の訓練成果を披露
芦北町消防団の消防点検は、3月11日、地域間交流スポーツグラウンドで行われ、消防団員や町関係者など約600人が参加しました。
昨年は東日本大震災の影響で中止したため、2年ぶりの開催となりました。会場では分列行進、規律競技に引き続き保育園児、幼稚園児の通常点検と放水が披露されました。また、消防団員による小型ポンプ操法競技も実施。小型ポンプ操法競技の上位2チームは7月に開催予定の郡操作大会に町代表として出場します。



城下町くまもと時代絵巻
（3月31日、熊本城にて）

受賞式に参上できなかった隊員の皆さん



葦北鉄砲隊が地域文化の振興に貢献する活動を行った個人や団体に贈られる「くまもと県民文化賞」を受賞し、2月28日に県庁で表彰式が行われました。
この賞は平成2年に始まり今回で22回目。芦北町関係者では、平成12年に肥後三郎弓の制作者の松永重昌さん（白石）、平成16年にうたせ船船大工の山下末長さん（計石西）が受賞しています。
短期間の活動で異例の受賞
今回は葦北鉄砲隊のほかに牛深ハイヤ保存会など1個人、1団体が地域文化活動部門で受賞しました。また、熊本県内外で音楽を中心に活動する演歌歌手の八代亜紀さんが特別賞を受賞しました。
葦北鉄砲隊は平成15年10月に結成し、今年で9年目を迎えました。何十年と永きにわたる活動が認められた受賞者の中で、創隊9年目での受賞は快挙です。江戸時代に熊本藩の防衛を担っていた「葦北御郡筒（あしきたおごおりづつ）」の火縄銃砲術を復活し、県内外において演武を披露するなど伝統文化の保存継承と地域の活性化に貢献したことが認められ、今回の受賞となりました。
葦北鉄砲隊は、隊員数は33人で年間50回程度の演武を披露していま

す。現在まで熊本城築城400年祭、山口県での国民文化祭、イギリスや韓国など国内外各地で演武を行い、芦北が誇る伝統文化として、また日本古来の伝統文化として伝えていきます。
海外でも堂々と演武
表彰式で蒲島知事は「この県民文化賞はわが県民の誇りとなる人たちに贈らせていただく賞。これまでにいろんなイベントで葦北鉄砲隊の活躍を見ています。特に昨年行われた『くまもとねんりんピック』では全国からいらつしやうした人たちが皆さんの演武を楽しまれたと思っっています」とあいさつ。また「県民文化賞を貰うと公的に認められた存在になりますね」と蒲島知事から尋ねられた葦北鉄砲隊の平江隊長は「海外で演武する際には公的に認められた団体なのかと聞いてくる。この賞をいただいたことで堂々と演武ができます」と話しました。
演武による伝統文化の継承だけではなく、教育現場への出前講座や芦北町の親善大使として町のPR活動、観光宣伝活動も行っている葦北鉄砲隊。この「くまもと県民文化賞」の受賞により今後の活躍がますます期待されます。

「情熱と献身」の精神で頑張ります

この度は、栄誉ある賞をいただき感謝しています。思い起せば9年前、竹崎町長の「この町に実在した鉄砲隊を作ろう」という一言から始まりました。復元するからには本物でなければならないという信念のもと、熊本藩の使用した砲術を習得しました。それから多くのイベントで演武を披露してきました。私たちが誇りを持って郷土の伝統文化を継承していけるのも、芦北町の皆様の温かいご理解とご支援のたまものであると深く感謝しています。今後とも葦北鉄砲隊の合言葉「情熱と献身」で故郷の伝統文化を誇りを持って継承し、芦北町のPRも積極的に行い、芦北町のために貢献してまいります。



葦北鉄砲隊 ひらえだいはち 平江大八隊長

町の予算（一般会計のみ）を
町民1人あたりに置き換えると

▷議会経費や予備費など
6,628円



▷魅力的なまちづくり
や効率的な行政経営
60,890円



▷高齢者・障がい者・子育て
140,859円



▷ごみ処理や病気の予防
58,970円



▷農林水産業の振興
37,696円



▷商工業や観光の振興
22,897円



▷道路や河川の整備
42,509円



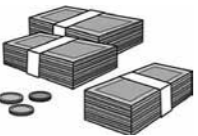
▷小・中学校や図書館、
生涯学習活動
38,074円



▷消防活動や防災
19,264円



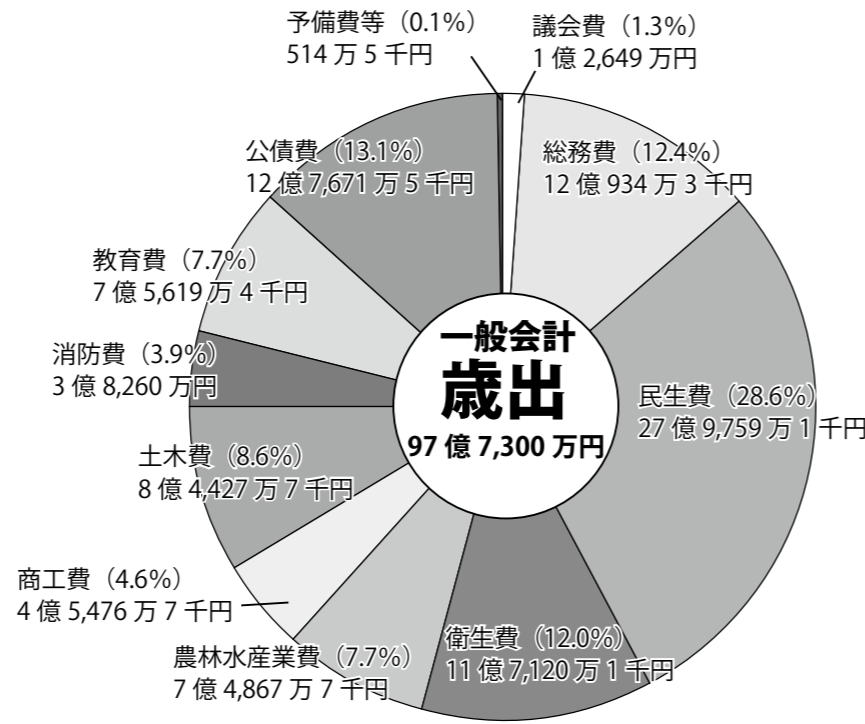
▷借入金の返済
64,283円



○町民1人に使われるお金
49万2,070円

○町がいただくお金
7万6,572円

人口19,861人（平成24年1月1日現在）で算出



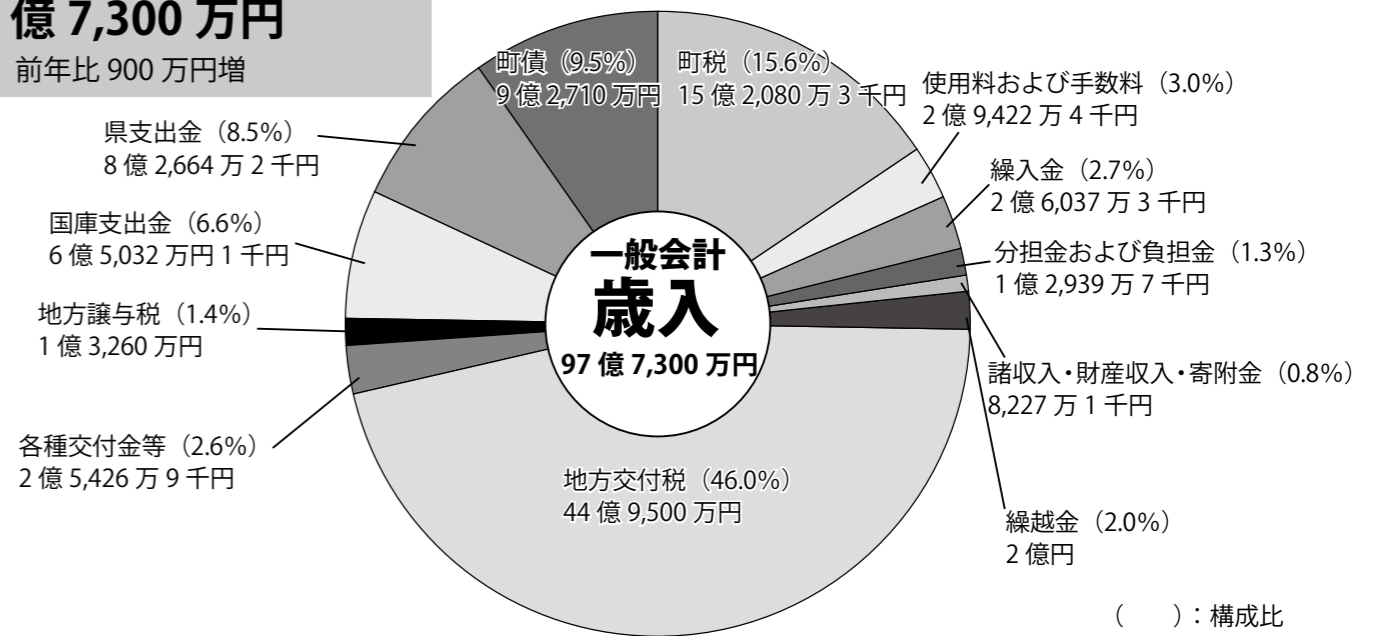
②特別会計（水道会計含む）予算総額
69億7,226万1千円
前年比6億5,098万円増

特別会計と水道事業会計（公営企業）の総予算額は69億7,226万1千円で、平成23年度と比較して6億5,098万円増加しました。

主な要因は、国民健康保険事業での医療費や介護保険事業での給付費が増加したことや城山配水池建設工事に伴い水道事業が増加したことが挙げられます。

会計名	24年度予算	増減率
特別会計		
国民健康保険事業	35億5,500万円	6.8%
介護保険事業	19億9,430万円	2.9%
簡易水道事業	9,800万円	28.6%
農業集落排水事業	2億1,700万円	△0.5%
生活排水処理事業	5,630万円	△1.7%
町有温泉事業	1億870万円	△3.4%
奨学資金貸付事業	3,010万円	4.9%
後期高齢者医療事業	2億5,420万円	0.8%
公営企業会計		
水道事業	6億5,866万1千円	113.0%
合計	69億7,226万1千円	10.3%

①一般会計当初予算
97億7,300万円
前年比900万円増



平成24年度 芦北町の一般会計① 特別会計② 当初予算 167億4,526万円1千円

町民の皆さんの安全・安心を守り、住みやすい芦北町をつくるための新年度予算がスタートしました。町にはどのような財源があり、どのように使われるかを説明します。

*問い合わせ先
企画財政課 財政係 ☎（82）2511（内線251）

一般会計とは、町の行政運営に必要な基本的な経費を計上した会計のことです。予算額は平成23年度と比較して900万円増加しました。

【歳入】
歳入は、個人・法人町民税の増収が見込まれ、町税が2,337万円増加しました。国庫支出金は大型事業の終了により1億8,944万円減少しましたが、県支出金は、福祉関連経費などにより増加しました。

基金からの繰入金も、安全・安心なまちづくりに活用するため、2億6,037万円を計上しました。町債は9億2,710万円を計上していますが、借入額を年間返済額より少ない金額に抑制し、借入残高の縮減を図っています。

【歳出】
歳出は、芦北町総合計画に掲げる「個性の光る活力あるまちづくり」の実現に向け、町民の皆さんにいか「安全で安心な暮らし」を提供できるかに主眼をおいた予算を計上しています。

行政コストの削減、効率化を図りながら健全財政を維持し、必要な事業を積極的に実施していきます。

3 生きがいある働き場づくり

農林水産業や商工業、観光などの振興を図るための事業です。

- 温泉塩商品化事業 7,121万円
御立岬温泉水を活用した特産品開発として、温泉塩の商品化に取り組む事業です。
- 農地流動化促進事業 634万円
農地の規模拡大や利用促進および耕作放棄地の抑制・解消を図るため、利用権を設定した場合や所有権を移転した場合に農地の受け手（借り手、買い手）および出し手に助成金を交付する事業です。



▲ミネラル分を含む温泉塩

4 豊かな心の人づくり

教育環境の整備をはじめ、文化・スポーツ振興、国際交流を推進するための事業です。

- 防犯カメラ設置事業 181万円
子どもたちの安全を確保するため、田浦小学校に防犯カメラを設置します。



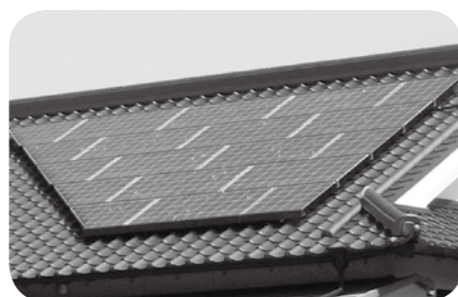
▲大相撲尾上部屋合宿

- 大相撲部屋合宿・Vチャレンジリーグ招致事業 260万円
大相撲部屋の合宿やプロバレーボールリーグのVチャレンジリーグを招致し、町民の皆さんに「観るスポーツ」の楽しさを伝えます。
- ブータン王国研修員受入事業 13万円
国際協力機構 JICA と連携し、ブータンからの研修員を受け入れ、研修・交流事業を行います。

5 生活を支える基盤づくり

暮らしやすい環境をつくるための道路整備や交通手段の確保、環境保全などを行う事業です。

- 町道射場芦北線整備事業 2,411万円
町民総合センターから芦北方面へのアクセス道路の整備を行うもので、平成 24 年度は測量設計および調査ボーリングを実施します。
- 住宅用太陽光発電システム設置費補助事業 420万円
太陽光発電システムを設置する町民に、1kW 当たり 3万5千円（上限4kW、14万円）を補助する事業です。



▲屋根上に設置された住宅用太陽光発電システム

6 効率的な行政組織づくり

きめ細かな住民サービスの提供や行財政改革を行う事業です。

- 土地家屋^{しっかい}皆調査 2,740万円
町民への公平・公正な課税を担保するため、航空写真などを活用した土地家屋の調査を行う事業です。

平成 24 年度一般会計当初予算の主な使い道

芦北町総合計画の基本理念「個性の光る活力あるまちづくり」実現に向けた事業展開を行います。

1 魅力的な地域づくり

地域づくり活動の支援や人材育成、子どもたちの健全育成を行う事業です。

- 芦北町まちづくり支援事業 800万円
町内の 84 区の主体的な活動を支援するために、地域での祭りや環境美化活動などの事業に対して補助対象経費の 8 割を助成する事業です。また、心を和ませる、美しいまちづくりを進めるために花苗などの配布を実施します。
- 放課後子ども教室推進事業・学校支援地域本部事業・家庭教育支援事業 355万5千円
地域と学校が連携して子どもを育てる取り組みや、保護者に対する支援を行う事業です。

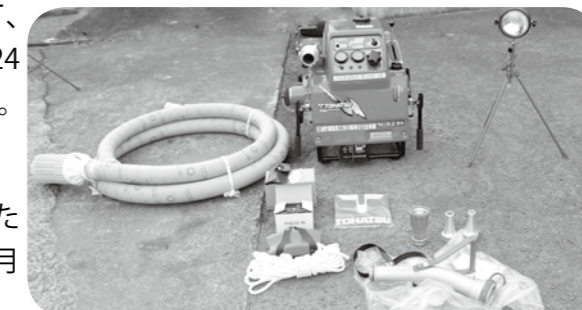


▲田川区の米づくり体験活動（芦北町まちづくり支援事業）

2 人にやさしい快適なまちづくり

安全・安心な生活環境づくりや各種福祉サービスを提供する事業です。

- 子ども医療費助成事業 7,061万円
疾病の早期治療と健康の保持、子育て支援を目的として、医療費の一部負担金の全額を助成する事業です。平成 24 年度から、対象年齢を 15 歳から 18 歳まで引き上げます。
- 女島活力推進センター整備事業 1億3,271万円
保健福祉の向上や地域のもやい直しを図る拠点とするため、女島地区に活力推進センターを建設する事業で、8月にオープン予定です。
- 消防機材・施設整備事業 2,235万円
町民の生命、財産を守るため、消防設備の整備を行う事業です。平成 24 年度は、町内初の軽自動車積載車 1 台、小型ポンプ 2 台の買い替え費用や 2 カ所の防火水槽の設置工事費、消火栓の新設経費などを計上しています。



▲小型動力ポンプ一式（消防機材・施設整備事業）



▲音楽療法（障害者自立支援給付等事業）

- 花岡東地区排水対策事業 1億3,450万円
大雨による冠水被害解消のため、ポンプなどの排水設備設置を行う事業です。
- 障害者自立支援給付等事業 4億3,080万円
障害者自立支援福祉法および児童福祉法に基づく福祉サービス（在宅・施設）を障がい者の皆さんへ提供します。

雨が降る中 海浜道を力走



雨の中一斉にスタートするランナーの皆さん

うたせマラソン大会は3月18日、芦北海浜総合公園前をスタート、ゴールに行われました。昨年は、東日本大震災の影響で中止となり2年ぶりの開催となりましたが、今年は、ここ10年では最も多い約1,500人のランナーが参加するほど盛況で、遠くは千葉県から参加したランナーもいました。ランナーは3Km、5Km、10Km、ハーフマラソンに出場。雨が降り肌寒い中での大会となりましたが、出場したランナーは雨をものともせず、海辺のコースを沿道の応援する人に手を振る余裕をみせながら走っていました。レース後は、表彰式を行い、芦北牛や大関米、うたせ船乗船券などが当たる抽選会で盛り上がりました。

1年の練習の成果を発表

昨年5月から実施していた平成23年度町民講座の閉講式は3月20日、町社会教育センターで行われました。24講座に324人が受講。各講座で技術などの習得に励み、この日を迎えることとなりました。

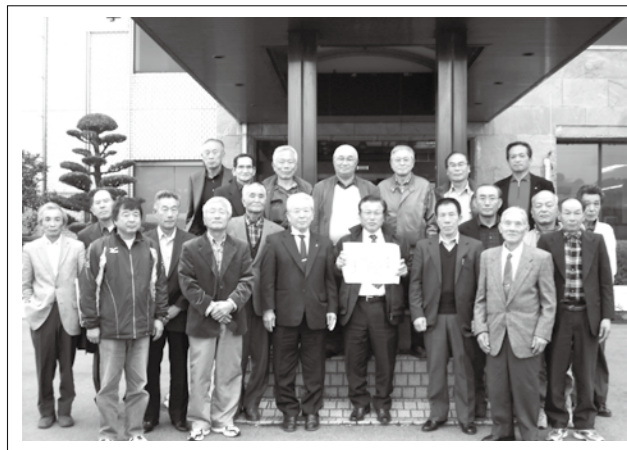
式では受講生を代表して料理講座を受講した吉海和子さんが「これからも料理の難しさや楽しさを感じながら、自分の腕を磨いていこうと思っています。受講したおかげでよい仲間と出会うことができ、何よりうれしいです。指導して下さった先生や関係者に感謝します」と謝辞を述べました。閉講式後は、受講生たちが1年間で学んだ学習の成果を披露しました。



ハワイアンフラを披露する受講生

耕作放棄地対策の取り組みが評価

芦北町農業委員会（片山幸弘会長）が平成23年の耕作放棄地解消部門で熊本県農業委員会優良活動表彰を受けました。芦北町農業委員会は、耕作放棄地全体調査の結果を分析し、農地パトロールを含めた現地調査を行うなど、耕作放棄地の再生に取り組みました。その結果、約30haの耕作放棄地の改善が図られたことが評価されました。片山会長は「国・県の事業の活用により少しは復旧する農地はあるが高齢化している状況では全部解消するのは難しい。地道に耕作放棄地を減らす努力をして、やる気のある担い手に優良農地を残すことが私たちの使命だと思っています」と受賞の感想を話しました。



表彰を受ける芦北町農業委員会の委員の皆さん

女島地区の拠点7月完成予定



上棟式後の餅投げ。地元以外からもたくさんの人が集まりました

7月に完成予定の女島活力推進センターの上棟式が3月20日に行われました。式後には、お祝いの餅を求めて約400人の町民が餅投げに参加しました。この日用意された餅は120kgもあり、女島地区の女性約50人が手作業で作りました。紅白1個ずつを袋詰めした2,500セットが屋根上から投げられ、あっという間になくなりました。

センターの運営は芦北町指定管理者制度により女島開発委員会（福浦武義会長）が8月から行う予定です。

女島活力推進センターの愛称を募集しています。詳細は、16ページをご覧ください。

湯浦地区でも地域焼酎が完成

湯浦活性化協議会（宮島澄廣会長）や湯浦地区の区長、公民館関係者が商品化に向け昨年4月から取り組んでいたオリジナル焼酎が完成し、3月29日、代表者らが完成報告に竹崎町長を訪れました。

製品名は湯浦温泉焼酎「湯の神さん」。宮島会長は「材料は古石山の神地区のお米、水は大関水。そして和（蒸留した焼酎に加える水）に湯浦温泉水を使用したこだわりの焼酎です。この焼酎が湯浦のお土産として定着し、湯浦温泉の活性化や地域の元気づくりに一役買えれば」と話しました。竹崎町長は「芦北には葦分をはじめ、古石や告、JAなどの地域焼酎がたくさんある。地域焼酎祭りをするのもおもしろいかもしれません」と話しました。

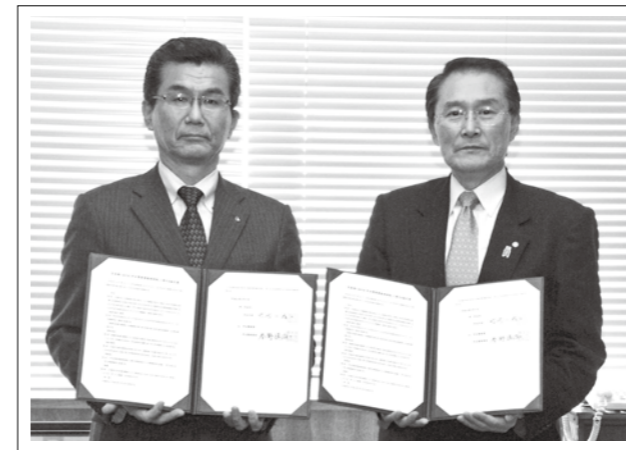


完成した湯浦温泉焼酎「湯の神さん」を竹崎町長に渡す宮島会長（写真左）

町施設を警察署の代替施設に

災害時における芦北警察署臨時移転に関する協定書調印式が3月27日、芦北町役場で行われました。

昨年3月に発生した東日本大震災により、東北地方の警察署や交番などが多数被災したことで指揮機能が麻痺するなど災害警備対策に多くの教訓を残しました。このことを受け、芦北警察署でも甚大な被害を受けた場合、警察署指揮機能の確保と警察力の回復、治安の維持を図るために代替施設の確保が急務となっていました。この協定により、しろやまスカイドームと地域活性化センターの2施設が一時的に警察署の代替施設として設定されました。県内の沿岸地域に位置する警察署でも同様の取り組みが行われています。



署名した協定書を持つ春野署長（写真左）と竹崎町長

栄光を讃えて

平成23年に文化活動とスポーツにおいて活躍した町民を讃えるため、3月4日、しろやまスカイドームで芦北町文化振興奨励賞・芦北町スポーツ賞の交付式を行いました。文化振興奨励賞は14人、スポーツ賞は73人が受賞しました。

交付式では、竹崎町長が受賞者に楯と奨励金を渡しました。受賞者を代表して金みなみさんが「このような賞をいただけるのもいつも応援してくださる皆さんのおかげです。感謝を忘れず、さらに上を目指して頑張ります」と謝辞を述べました。



▲文化振興奨励賞受賞の皆さん

受賞者は次のとおりです。(敬称略)
※カッコ内の住所、所属などは受賞時のものです。

文化振興奨励賞

【全国大会】

▼第62回日本学校農業クラブ全国大会 プロジェクト発表(環境) 優秀賞Ⅱ一阪麻未(市野瀬、芦北高3年)、沼田典憲(白岩、芦北高3年)、藤崎恵莉佳(古石北、芦北高3年)、桑原裕也(道川内西、芦北高3年)、田平健斗(計石東、芦北高3年) ▼バランス弁当コンテスト 一般部門こどもの部 大賞Ⅱ高上和輝(小田浦3、田浦中1年)

【九州大会】

▼第66回九州合唱コンクール 合唱高校Bグループ 銀賞Ⅱ稲富思寿代(湯浦南、水保高3年)、向野里耶佳(湯南団地、水保高2年)、比屋定明子(小田浦6、水保高2年)、松村ゆり子(田浦町4、水保高2年)、向田有香(湯浦南、水保高1年)、赤山直樹(田浦町3、水保高1年)、楠本海頼(小田浦4、水保高1年) ▼平成23年度熊本県高等学校前期写真コンテスト 最優秀賞Ⅱ平江富充圭(白岩、八代白百合学園高3年)

スポーツ賞

【国際大会】

▼第11回アジアジュニア&カデット大会(空手道) カデット女子個人組手 優勝Ⅱ金みなみ(花岡西、佐敷中3年)、カデット男子個人組手 3位Ⅱ田村嵐(花岡西、佐敷中3年)

【全国大会】

▼第5回全日本レディースバドミントン競技大会 個人戦ダブルス 優勝Ⅱ引地恵(花岡西) ▼第11回全日本少年少女空手道選手権大会 2年女子個人組手 5位Ⅱ金つばさ(花岡西、佐敷小2年) ▼第66回国民体育大会おいでませ!山口国体空手道競技 男子個人組手(重量級) 5位・混合団体組手 4位Ⅱ坂田宏樹(花岡西、芦北町教育委員会)

【九州大会】

▼ボーイズリーグ西日本選抜優勝大会(野球) 優勝Ⅱ山崎翔暮(小田浦4、熊本宇城ボーイズ) ▼平成23年度全九州高等学校体育大会・第57回全九州高等学校弓道競技大会 男子団体戦 優勝Ⅱ岩崎淳平(湯浦北、八代工高3年)、四宮英志(豊岡、八代工高2年) ▼第48回九州沖縄地区国立高等専門学校体育大会水泳競技

技 男子400mメドレーリレー 優勝Ⅱ小林竜大(花岡西、熊本高専八代キャンパス4年)、岩野圭吾(花岡西、熊本高専八代キャンパス4年) ▼第37回全九州空手道選手権大会 少年男子団体組手 3位Ⅱ山本師徳(花岡西、芦北高3年) ▼平成23年度九州中学校体育大会・第7回九州中学校空手道大会 男子団体組手 3位Ⅱ才保佑一朗(天月、佐敷中3年)、白崎祥太(乙千屋、佐敷中3年)、宮本悠矢(花岡西、佐敷中2年)

▼第26回九州小学生体操大会(新体操) 男子団体 優勝Ⅱ岩永周大(本町、佐敷小6年)、岩永果大(本町、佐敷小4年)、大室裕慈(向町、佐敷小4年)、川口大輔(花岡西、佐敷小4年)、木下大雅(花岡東、佐敷小4年) ▼第31回全九州高等学校新人大会・第31回全国高等学校空手道選抜大会予選会 女子団体組手 3位Ⅱ金さくら(花岡西、芦北高2年)、中島かれん(花岡西、芦北高2年)、元山夏(小田浦3、芦北高2年)、中島レナ(花岡西、芦北高1年)、才保なな(天月、芦北高1年)

▼第48回九州沖縄地区国立高等専門学校体育大会剣道競技 女子個人 優勝Ⅱ迫本茜(田浦3、熊本高専八代キャンパス3年) ▼平成23年度第5回「九州小学生ゴルフ大会」

小学4年～6年の部(男子) 2位Ⅱ間柄両真(湯浦南、湯浦小6年) ▼第24回全日本小学生相撲優勝大会九州予選会 個人6年生の部 3位Ⅱ橋本空大(宮浦、佐敷小6年) ▼第17回全九州わんぱく相撲大会 3位Ⅱ遠山奨悟(計石東、佐敷小4年) ▼第31回全九州高等学校新人大会・第31回全国高等学校空手道選抜大会予選会 男子個人組手 2位 才松佑也(天月、文徳高校2年) ▼第2回九州各県対抗少年相撲大会 個人6年生の部 3位Ⅱ松岡友希(花岡西、佐敷小6年)、個人4年生の部 3位Ⅱ橋本大海(宮浦、佐敷小4年)

【県大会】

▼西日本軟式野球大会熊本県予選 優勝Ⅱオール芦北 山下浩浩(湯浦南)、西川智(湯浦東)、田口昭蔵(花岡西)、石田幸満(花岡東)、鎌木信一(花岡西)、中川秀樹(岩屋川内)、岡崎道夫(諏訪)、入澤昭浩(計石東)、中川文博(乙千屋)、横坂和彦(花岡西)、山下義治(計石西)、橋本康博(平生)、西村将太(大野)、才保親哉(天月) ▼平成23年度熊本県高等学校体育大会カヌー競技 カヤックフォア 優勝Ⅱ楠原恵美子(湯浦南、水保高2年) ▼平成23年度熊本県高等学校体育大会 バドミ

ントン競技 男子団体戦 優勝Ⅱ山翔(高岡北、八代東高3年)、女子団体戦 優勝Ⅱ入江未来(田浦4、玉名女子高2年) ▼第64回熊本県高等学校陸上競技対校選手権大会4×400mリレー 優勝Ⅱ道崎華(乙千屋、水保高3年)、丁将広(乙千屋、水保高3年) ▼第27回若葉カップ全国小学生バドミントン大会 熊本県予選 団体戦 優勝Ⅱ福田朋花(小田浦3、田浦小5年)、松野汐里(小田浦7、田浦小5年)、平野梨花(小田浦2、田浦小4年) ▼第23回熊本県中学生空手道大会 男子団体組手 優勝Ⅱ佐藤康平(道川内西、佐敷中3年)、佐藤雄介(道川内西、佐敷中1年) ▼第15回NHK杯・熊本県サッカ―選手権大会・第91回天皇杯全日本サッカ―選手権大会代表決定戦 優勝Ⅱ熊本教員蹴友団 野口慶(田川) ▼第54回熊本県銃剣道優勝大会 一般の部 優勝Ⅱ葦北郡支部 福田健生(田浦3)、白樫辰也(花岡西)、向川潤(湯浦南) ▼熊本県民体育祭水保市・葦北郡大会(水泳) 男子25歳以上200mフリーリレー 優勝Ⅱ今村郁己(道川内西)、永里壽朗(湯浦北) ▼第28回熊本県選抜少年相撲大会 小学生の部団体戦 優勝Ⅱ宮内拓海(白岩、佐敷小6年)、出野稜人(八幡、佐敷小6年)

▼第30回熊本県少年少女空手道練成大会 6年男子個人組手 優勝Ⅱ鬼塚大輝(宮崎、湯浦小6年)、5年男子個人組手 優勝Ⅱ田村響(花岡西、佐敷小5年)、5年女子個人組手 優勝Ⅱ鬼塚愛理(宮崎、湯浦小5年) ▼第38回熊本県中学生相撲選手権 個人軽量級 優勝Ⅱ福田亮太(計石西、佐敷中1年) ▼熊本県中学生学年別水泳競技大会 女子50m平泳ぎ 優勝Ⅱ福山葵(福浦、芦北スイミングクラブ) ▼平成23年度熊本県社会人バドミントン選手権大会 65歳以上男子ダブルス 優勝Ⅱ引地繁一(花岡西) ▼熊本県民体育祭水保市・葦北郡大会(陸上) 男子40歳代100m 優勝Ⅱ野畑光晴(小田浦3) ▼第37回熊日学童五輪空手道大会 女子団体組手 優勝Ⅱ釜くるみ(女島西、湯浦小6年) ▼第6回熊本県中学生空手道新人大会 男子個人組手 優勝Ⅱ釜拓治(女島西、湯浦中1年)

【特別賞】

▼熊本県民体育祭水保市・葦北郡大会(水泳) 女子25歳以上50mバタフライ 優勝(4連覇)Ⅱ山下悠夏(湯浦南)



▲スポーツ賞受賞の皆さん

子ども医療費の助成対象者を 4月1日から「18歳」まで引き上げました

芦北町では、子育て家庭の負担軽減と児童の健全育成のため、子どもにかかる医療費の助成を行っています。子育て家庭のさらなる経済的負担軽減のため助成年齢を次のとおり引き上げることにしました。

なお、対象となる子どもがいる世帯には、必要書類などを送付しますのでご確認ください。



*問い合わせ先
福祉課 児童家庭福祉係 ☎(82) 2511 (内線151)

【変更前】
年齢が満15歳に到達後、最初の3月31日まで（中学校3年生まで）



【変更後】
年齢が満18歳に到達後、最初の3月31日まで（ただし、婚姻している人、または社会保険各法による被保険者で勤労学生以外の人対象外となります）

※新たに対象となった子どもは、平成24年4月1日以降の受診分から助成対象となります。受給者証の発行は申請受付後となりますので、それまでに受診した分については領収書を保管し、受給者証発行後に医療費の申請をしてください。

※入院・通院・歯科・調剤にかかる保険診療の一部負担金が助成対象となります。ただし、入院などで高額療養費に該当する場合や付加給付がある場合などは、その金額を控除した金額が助成対象となります。

後期高齢者医療 平成24・25年度の保険料が決定しました

熊本県後期高齢者医療広域連合では、2年ごとに保険料を見直しています。平成24・25年度の保険料が次のとおり決定しました。

◆決定した保険料（年額）と率
均等割額 **47,900円**
(被保険者が等しく負担する保険料)
所得割率 **9.26%**
(所得に応じて負担する保険料)
◆保険料の計算式
保険料額（年額）＝均等割額47,900円＋所得割額{(総所得金額等－33万円)×9.26%}
※保険料の上限額が年額50万円から55万円へ変更となりました。

低所得者などの保険料は軽減を継続

所得が低い人や被保険者の加入者（協会けんぽ、健保組合、共済組合など）に扶養されていた人の保険料は、継続して軽減されます。

*問い合わせ先
住民生活課 医療年金係
☎(82) 2511 (内線141)

●所得割が軽減される世帯

被保険者の総所得金額など	軽減率
33万円＋58万円以下の人	5割

●被用者保険加入に扶養されていた人

特別措置として、当分の間は保険料の均等割額が9割軽減されます（所得割額はかかりません）。対象者：資格を得た日の前日まで、被用者保険加入者に扶養されていた人です。

●均等割額が軽減される世帯

世帯（被保険者と世帯者）の総所得金額など	軽減率
33万円以下の世帯で、被保険者全員の年金控除額をそれぞれ80万円として計算したうえで所得が0となる世帯	9割
33万円以下の世帯	8.5割
33万円＋「24.5万円×世帯の被保険者数（世帯主を除く）」以下の世帯	5割
33万円＋「35万円×世帯の被保険者数」以下の世帯	2割

※総所得金額などの計算には、専従者控除、譲渡所得の特別控除は適用されません。

4月から介護保険料が変わりました

4月から第5期介護保険事業計画の運営（平成24～26年度）が始まりました。介護保険料は、高齢者や要介護認定者の増加、それに伴う介護給付費の増加などにより

被保険者の区分	基準額に対する保険料率	平成24年～26年度年額	月額
第1段階 ・老齢福祉年金受給者で、本人と世帯全員が市町村民税非課税の人 ・生活保護受給者	0.50	26,500円	2,205円
第2段階 本人と世帯全員が市町村民税非課税で、合計所得金額＋課税年金収入額が80万円以下の人	0.50	26,500円	2,205円
第3段階 本人と世帯全員が市町村民税非課税であって、第2段階以外の人	0.75	39,700円	3,308円
第4段階 世帯内に市町村民税課税者がいて、本人が市町村民税非課税であり合計所得金額＋課税年金収入が80万円以下の人 世帯内に市町村民税課税者がいて、本人が市町村民税非課税であり合計所得金額＋課税年金収入が80万円を超える人	0.80	42,300円	3,528円
	1.00	52,900円 (基準)	4,410円 (基準)
第5段階 本人が市町村民税課税で合計所得金額が190万円未満の人	1.25	66,100円	5,513円
第6段階 本人が市町村民税課税で合計所得金額が190万円以上の人	1.50	79,400円	6,615円

※保険料段階の決定は、前年の所得状況が確定する6月に決定します。それまでは前年度の所得状況を基に仮の保険料を徴収します。

*問い合わせ先
住民生活課 医療年金係 ☎(82) 2511 (内線142)

芦北に残る文化遺産

⑪ 花岡東獅子舞 花岡北獅子舞

(町指定無形民俗文化財
昭和55年7月1日指定)



4月は気候が暖かくなり、草木が芽吹く生命力あふれる季節です。この生命力をいただいて、農作物の豊作をお祈りするための祭りが各地で行われます。その中で、最もにぎやかなのが佐敷のお諏訪さんの祭りです。子どもたちの神輿行列や赤ちゃんの土俵入りなど、毎年楽しみにしている人も多いのではないのでしょうか。

そのお諏訪さんの祭りで披露されていた郷土芸能の一つに獅子舞があります。獅子舞は、インドや中国に起源を持つといわれ、日本では16世紀初めに伊勢国（現在の三重県）で疫病を追い払うため、正月に行ったのが始まりといわれています。

この獅子舞は江戸時代から、佐敷村で行われてきましたが、明治33年（1900年）に花岡区が東区と北区に分かれてから、それぞれで行うようになりました。この時以来、東区が大型の雄獅子と小型の雌獅子、北区が大型の雌獅子と小型の雄獅子の各一對を保有しています。ちなみに青色が雄で、赤色が雌です。

この舞は一匹の獅子に2人が入り、鐘の音に合わせて勇壮に舞い踊る一方、雌獅子が眠ると雄獅子がシラミをとるといったほのぼのとした場面も見られます。両獅子が眠ると王子が現れ、手に持つ金の玉で眠りから起こし、玉取りの舞を行います。これは、獅子が金の玉を好むという伝説があり、獅子狩（あるいは獅子とのたわむれ）を模したものとされています。異国情緒ある王子の服装や獅子の姿から見て、中国をはじめ海外との交流が盛んであったことが推測されます。

花岡東の獅子舞は、現在も正月に佐敷のお諏訪さんで披露されていますが、4月のお諏訪さんのお祭りで披露していた花岡北の獅子舞は、人手不足により近年は実施が難しくなっています。

*問い合わせ先
生涯学習課 文化振興係
☎(87) 1171 (内線145)

平成24年度 町職員人事異動 (4月1日付け)

【課長級】

総務課長 坂梨優 (商工観光課長)、総務課審議員 長瀬健太郎 (熊本県警察本部)、税務課長 吉田茂 (会計管理者兼会計室長)、住民生活課長 楠原清照 (住民生活課環境対策室長)、商工観光課長 山元信作 (企画財政課政策推進室長)、福祉課長 宮下祐一 (企画財政課長補佐)、会計管理者兼会計室長 早川純一 (農業委員会事務局長)、議会事務局長 寺川健一 (生涯学習課長)、農業委員会事務局長 江上繁 (税務課長補佐)、教育課長 本山昭 (教育課長補佐)、生涯学習課長 藤井哲郎 (生涯学習課長補佐)

【課長補佐級】

▶総務課 監理係主幹 長崎十三男 (総務課管財係長) ▶企画財政課 課長補佐 長船正純 (税務課地籍調査室長)、政策推進室長 櫻井優一 (商工観光課観光係主幹) ▶税務課 課長補佐 井手口浩二 (税務課住民税係主幹)、住民税係主幹 福田誠治 (農林水産課林務水産係長)、地籍調査室長 嶋崎雄二 (税務課地籍調査室地籍調査係主幹) ▶住民生活課 課長補佐 中田祐一 (福祉課障害者福祉係主幹)、環境対策室長 岩間睦生 (福祉課長補佐) ▶福祉課 障害者福祉係主幹 杉本芳郎 (社会福祉協議会事務局派遣) ▶農林水産課 課長補佐 告畑一彦 (税務課固定資産税係主幹) ▶上下水道課 下水道係主幹 上野孝司 (上下水道課下水道係長) ▶教育課 課長補佐 大塚雄二 (農林水産課長補佐) ▶生涯学習課 課長補佐 宮石幸人 (生涯学習課生涯学習係主幹)、文化振興係主幹 高島繁 (生涯学習課文化振興係長) ▶社会福祉協議会事務局派遣 杉本勝典 (住民生活課医療年金係主幹)

【係長級】

▶総務課 管財係長 山下博章 (総務課管財係参事)、防災交通係長 内田照也 (生涯学習課体育振興係長)、大野出張所長 黒田順子 (住民生活課医療年金係参事)、吉尾出張所長 (保健センター兼務) 中田さゆり (大野出張所長) ▶企画財政課 政策推進室政策推進係長 鳥居住史 (総務課防災交通係長) ▶税務課 固定資産税係長 鎌田富士夫 (総務課情報管理係参事)、地籍調査室地籍調査係長 宮島誠一 (税務課収納係参事) ▶住民生活課 医療年金係長 田中公広 (住民生活課保健センター係長)、環境対策室清掃センター所長 村上雅彦 (農林水産課振興係参事)、保健センター所長 鶴川健一 (住民生活課保健センター参事) ▶商工観光課 観光係長 早稲田孝也 (商工観光課観光係参事) ▶福祉課 高齢者福祉係長 竹下淳也 (企画財政課政策推進室企画調整係長)、田浦保育所長 浦川諒子 (福祉課田浦保育所保育士)、大野保育所長 大塚峯子 (教育課芦北幼稚園教諭) ▶農林水産課林務水産係長 福田鉄也 (建設課土木係参事) ▶教育課 学校給食センター所長 鎌畑良一 (佐敷学校給食センター所長) ▶生涯学習課 生涯学習係長 正林謙輔 (住民生活課清掃センター所長)、体育振興係長 岡田謙治 (企画財政課政策推進室行政改革推進係長)

【参事級】

▶総務課 文書法規係 桑村留美子 (建設課住宅係)、監

理係 白坂フクミ (総務課管財係) ▶税務課 収納係 原田徹 (生涯学習課体育振興係)、上野晃祐 (農林水産課農政係) ▶住民生活課 環境対策室環境対策係 山口寛夫 (住民生活課環境対策室環境対策係) ▶商工観光課 観光係 上野友晴 (企画財政課まちづくり推進係) ▶建設課 住宅係 森下みゆき (会計室会計係)、維持係 井川裕二 (建設課維持係) ▶教育課 学校給食センター 倉永やす子 (田浦学校給食センター所長) ▶水俣芦北広域行政事務組合派遣 田中元域 (商工観光課大野温泉センター)

【その他の職】

▶総務課 総務係 橋本仁志 (農林水産課林務水産係)、管財係 橋本晃一 (税務課地籍調査室地籍調査係)、秘書広報係 鎌地めぐみ (福祉課社会福祉係)、情報管理係 岩間崇浩 (税務課住民税係) ▶企画財政課 財政係 小川宏達 (教育課学校教育係)、まちづくり推進係 白坂美弥子 (福祉課児童家庭福祉係)、政策推進室政策推進係 藤井さおり (税務課住民税係)、宮石夏樹 (熊本県派遣) ▶税務課 住民税係 淵上由香 (総務課秘書広報係)、一地寿人 (住民生活課医療年金係) ▶住民生活課 医療年金係前島知子 (総務課付)、前川明宏 (建設課計画係) ▶商工観光課 観光係 黒田美保子 (住民生活課総合窓口係) ▶福祉課 社会福祉係 小川美樹 (総務課付)、児童家庭福祉係 宮本武蔵 (企画財政課まちづくり推進係)、障害者福祉係 渡邊純子 (総務課文書法規係)、湯浦保育所 坂本まり子 (田浦保育所)、田浦保育所 宮村誠子 (大野保育所)、大野保育所 寺川陽子 (湯浦保育所) ▶会計室 会計係 窪田めぐみ (企画財政課政策推進室企画調整係) ▶農林水産課 農政係 橋本雄一郎 (企画財政課財政係)、林務水産係 上野雄也 (税務課収納係) ▶教育課 学校教育係 竹下由美 (総務課付)、芦北幼稚園 道園久美 (水俣芦北広域行政事務組合派遣)、平塚令子 (福祉課田浦保育所) ▶熊本県派遣 上野寛道 (総務課総務係)

【新規採用】

橋口卓矢 (企画財政課まちづくり推進係)、駒走健大 (住民生活課総合窓口係)、山本翔太 (住民生活課環境対策室環境対策係)、岡田太樹 (農林水産課振興係)、笠本尚志 (建設課計画係)、江口佑人 (建設課土木係)

【退任】

小佐田貴栄 (総務課審議員)、寺川昭治 (保健センター所長)

3月31日付け

【退職】

中原豊徳 (総務課長)、福山勝廣 (議会事務局長)、大岩憲治 (福祉課長)、農中豊 (税務課長)、永田光洋 (教育課長)、迫本文雄 (住民生活課長)、徳尾理恵子 (大野保育所長)、永野ゆき子 (田浦保育所長)、石兼千美子 (吉尾出張所長)、兼元高士 (清掃センター)、横田照光 (福祉課高齢者福祉係)、坂田静代 (大野保育所)、山下隆 (商工観光課観光係)、市川良一 (田浦基幹支所)

保健センターだより

平成24年度予防接種

麻疹(はしか)まん延防止

平成19年度の麻疹(はしか)の大流行を受けて、平成24年度を目標に麻疹を排除する計画が策定されました。平成20年度から5年間、中学1年生に相当する年齢の人および高校3年生に相当する年齢の人を対象に、麻疹風しん混合(第3期)、(第4期) 予防接種を実施しています。

◎本年度の対象者

第3期：中学1年生に相当する年齢の人(平成11年4月2日～平成12年4月1日生)
第4期：高校3年生に相当する年齢の人(平成6年4月2日～平成7年4月1日生)

※対象者には個別に接種勧奨の通知をします。

【注意】

中学1年生および高校3年生への接種は本年度が最後となります。就学前に麻疹・風しんの予防接種を受けた人も接種対象者です。ただし、麻疹・風しんの両方に

確実ににかかったことがある人は接種の必要はありません。

なお、まん延防止のため、夏休み終了までに受けることをお勧めします。

〈町内医療機関〉

芦北クリニック、井上医院、井上病院、篠原医院、竹本医院、七浦でらさきクリニック、松本医院、宮島医院、百崎内科医院

〈町外医療機関〉

県内の医療機関で一部、接種できる医療機関があります。希望する人は、保健センターへお尋ねください。



その他の定期的予防接種

乳幼児の定期接種については、3～4カ月児健診時に個別接種(三種混合、日本脳炎、麻疹風しん混合(第一期))の予防接種を配布しますので、かかりつけ医で接種を受けてください。

〈三種混合〉

生後3カ月以上7歳6カ月未満までに受けてください。

〈日本脳炎〉

①3歳に達する日の前日から4歳に達する日の前々日までの間(標準的な接種期間)に実施する1期初回(1回目・2回目)および1期追加(1期初回(2回目)接種終了後おおむね1年において1回接種)が積極的勧奨の対象です。
②平成17年の積極的な勧奨の差し控えにより接種機会を逃した人への接種については、平成24年度に8歳、9歳、10歳になる人が積極的勧奨の対象です(個別に通知します)。

〈麻疹風しん混合(第1期)〉

生後12カ月以上24カ月未満までに受けてください。

〈麻疹風しん混合(第2期)〉

平成18年4月2日～平成19年4月1日生まれの人へ個別に通知します。

〈二種混合〉

平成12年4月2日～平成13年4月1日生まれの人へ個別に通知します。

〈ポリオ〉

4月と10月に集団接種を実施します。

〈BCG〉

3～4カ月児健診時に接種します。

任意接種の接種料金の助成

※町内医療機関で接種された場合のみ助成対象です。

〈ヒブワクチン、小児用肺炎球菌〉

生後2カ月以上5歳未満(5歳になる誕生日の前々日まで)の人が助成対象です。

〈子宮頸がん予防接種〉

中学1年生の女子生徒が対象です。(個別に通知します。)

インフルエンザ予防接種については接種シーズン前にまちだよりなどでお知らせします。

※いずれの予防接種も医療機関で接種を受ける場合は予約が必要ですが、事前に必ず予約してから接種を受けてください。

*問い合わせ先

保健センター

☎(86)0200

女島活力推進センター 愛称を募集します

7月に完成を予定している「芦北町女島活力推進センター」の愛称を募集します。

同センターは、水俣病被害者や地域住民の交流、水俣病や環境問題などに関連した情報発信の活動拠点として、多目的スペース、展示スペース、厨房、販売所、ラウンジなどを備えた施設です。

◆愛称の条件
「もやい」の文字を部分的に挿入し他の文字と組み合わせてください。
※作成例
もやい○○、○○もやい○(館)



▲女島活力推進センター完成予想図

「もやい」とは、「船と船をつなぎ合わせる」といいます。水俣病により損なわれた人々の絆を再生する象徴として「もやい直し」という言葉が、地域再生の合言葉になっています。

- ◆応募資格 どなたでも応募可
- ◆応募方法
○官製ハガキで郵送するか、住民生活課環境対策室へ持参してください。
- 記載する内容は、①郵便番号②住所③氏名(フリガナ)④年齢⑤職業⑥愛称名です。可能であれば愛称の意味などの記載もお願いします。
- ◆締め切り 4月27日(金)
- (当日消印有効)
- ◆審査
持参の場合は午後5時まで
- ◆発表・表彰
1点を選定します。

◆発表・表彰
芦北町女島活力推進センター落成式当日に発表し、表彰状授与と賞品を贈呈します。

*問い合わせ・応募先
〒869-1549
芦北町大字芦北2015
芦北町住民生活課環境対策室
☎(82) 2511(内線147)

社会教育センター 展示室へのご案内

芦北町社会教育センターの展示室ではさまざまな文化財や作品を展示しています。

【文化財展示】
佐敷城跡から発見された瓦やしゃちほこ、また花岡地区遺跡から発掘された古銭や青磁器など、これまでの調査で見つかった貴重な文化財を展示しています。



田浦子育て支援センター 5月の行事

- 8日(火) お見知り遠足
 - 7日(月)～11日(金) 母の日プレゼント作り
 - 17日(木) おにぎりクッキング
 - 29日(火) 身体測定・誕生会
- ※支援センターは未就園児と保護者なら誰でも利用できます。気軽にお越しください。
※一時保育も行っています。
- ◆センター利用時間 毎週月曜日～金曜日
午前9時30分～正午
午後2時45分～午後5時15分
- *問い合わせ先 田浦子育て支援センター
☎(87)0034

*問い合わせ先
生涯学習課 文化振興係
☎(87) 1171

【自主講座作品展示】
芦北町社会教育センターの展示室では自主講座による作品を展示しています。

- ▼芦北彩友会による油絵
現在展示中(4月30日(月)まで)
 - ▼陶友会による陶芸品
5月10日(木)～5月31日(木)
- *問い合わせ先
芦北町社会教育センター
☎(82) 2213

「芦北町ふるさとづくり 基金運用事業」助成募集

町内の各地域において活動している団体や、今から継続的にまちづくりを続けていきたいと考えている人で、一定の条件を満たすと町の助成が受けられます。

- 対象事業には、スポーツ・文化振興・国際交流などがあります。
- ▼申込締切日 5月9日(水)
- *申込・問い合わせ先
企画財政課 まちづくり推進係
☎(82) 2511(内線252)

春の農作業安全確認運動の 推進

3月1日から5月31日までの3カ月間、全国で春の農作業安全確認運動

芦北の神社とお寺について学習しませんか

昨年度大変好評をいただきました町民歴史講座を本年度も開催します。芦北町に残る数多くの歴史遺産や文化遺産について学習してみませんか。本年度は「芦北の神社とお寺」をテーマに開催します。

- ◆対象：町内に在住・在勤の18歳以上の人(全4回に参加できる人)
- ◆募集人数：25人(先着)
- ◆参加料：無料
- ◆申込期間：4月16日(月)～5月16日(水)

【年間テーマ】『芦北の神社とお寺』

回	期 日	内 容	場 所
1	5月25日(金) 午後7時30分～午後9時(90分)	「知ってみよう！芦北の神社とお寺」 神社とお寺の歴史のほか、町内にある社寺について学びます。	社会教育センター
2	8月3日(金) 午後7時30分～午後9時(90分)	「そこがポイント！神社とお寺の見方」 神社やお寺を見学するときのポイント(由来・建築・仏像など)を学びます。	社会教育センター
3	12月上旬予定 午後1時30分～午後4時30分(180分)	「見学してみよう！神社とお寺」 2回の講座で知った歴史や見方で神社とお寺を実際に見学します。	現地見学
4	2月9日(土) 予定 午後1時30分～午後3時(90分)	「記念講演」 年間テーマに関連する内容で記念講演を行い、その後に閉講式を行います。	社会教育センター

*申込・問い合わせ先
生涯学習課 文化振興係 ☎(87)1171(内線144)

危険物取扱者試験案内

動を実施しています。農繁期を迎えるこの時期は、秋の収穫期とともに、1年のうちで最も農作業の事故が発生しやすい傾向にあります。農業機械による事故は、重大事故につながる場合が多いので、農作業の安全に努め、未然に事故を防ぎましょう。

- *問い合わせ先
農林水産課 農政係
☎(82) 2511(内線271)
- ▼試験の種類
・甲種危険物取扱者試験
・乙種危険物取扱者試験(第1類から第6類)
- ・丙種危険物取扱者試験
- ▼受付期間 4月13日(金)～4月24日(火)
(午前9時～午後4時30分)
- ※郵送の場合は4月24日の消印のあるものまで有効。電子申請の手続きは、「消防試験研究センター」ホームページで確認してください。
- ▼試験日 6月10日(日)
- ▼試験場所
熊本市、八代市、天草市、玉名市
- ▼受験願書の請求先
消防試験研究センター熊本県支部、水俣市消防本部、芦北消防署
- *問い合わせ先
消防試験研究センター熊本県支部
☎096(364)5005

平成24年度 水俣病犠牲者慰霊式

水俣病の犠牲になって亡くなられた全ての生命に慰霊の祈りを捧げ、環境再生・創造を誓い、生命・健康・環境の尊さを全世界に訴えていくために慰霊式を開催します。

- ▼日時 5月1日(火)(雨天決行)
午後1時30分～午後3時
- ▼場所 エコパーク水俣親水緑地「水俣病慰霊の碑」前
- ※会場まで送迎バスを運行します。
- *問い合わせ先
水俣市環境モデル都市推進課
☎(61)1612

熊本県では水俣病被害者に 対する 救済の申請を受け付けています

申請の受付期限
7月31日(火)まで
郵送の場合、当日消印有効

*問い合わせ先
住民生活課 環境対策室 ☎(82)2511(内線147)

芦北警察署

問い合わせ先
芦北警察署 ☎ (82) 3110

フィルタリングが
子どもを守ります！

フィルタリングとは

インターネット上の違法・
有害情報を見せない仕組み

これまでに、子どもたちが有害情報サイトを見たことで、次のような相談があつていきますのでフィルタリングの対策を行ってください。

◇アダルトサイトを見るために住所・氏名・連絡先を入力したら、入力した連絡先に電話がかかってきて高額な閲覧料金を請求された。

◇掲示板にメッセージを書き込んだら、僕(私)を誹謗中傷する書き込みをされた。

◇出会い系サイトで知り合った人と会ったら無理矢理、売春をさせられた。

- 有害情報とは・・・
- ・アダルト画像
 - ・出会い系サイト
 - ・残虐画像
 - ・覚せい剤などの販売
 - ・自殺志願者募集
 - ・家出少女の受け入れ
 - ・誹謗中傷を載せた掲示板



芦北消防署

問い合わせ先
芦北消防署 ☎ (82) 4731

平成23年中の芦北消防署の火災・救急出動状況を報告します。

◆火災出動件数 11件
(前年比4件増)

- ◎火災種別件数
- ・建物 7件
 - ・林野 1件
 - ・その他 3件
- ◎原因別件数
- ・電灯等の配線 3件
 - ・コンロ 1件
 - ・交通内配線 1件
 - ・たばこ 0件
 - ・その他 6件

◆救急出動件数 747件
(前年比61件増)

- ◇事故種別
- ・火災 1件
 - ・自然災害 0件
 - ・水難 2件
 - ・交通事故 42件
 - ・労働災害 5件
 - ・運動競技 5件
 - ・出動件数 747件
 - ・搬送人員 714人

◆一般負傷 86件

- ・加害 2件
- ・自損行為 8件
- ・急病 423件
- ・転病搬送 173件

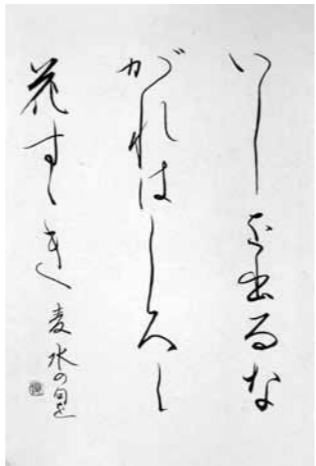
◆救助出動件数 17件
(前年比同)

- ・交通事故 5件
- ・火災 9件
- ・水難事故 0件
- ・機械事故 1件
- ・労働災害 1件
- ・その他 1件

林野火災に注意

林野火災は、春先に多く発生しています。原因は山菜採りや森林レクリエーションなどによる入山者が増加することなどによるものと考えられます。春先には、降水量が少なく空気が乾燥する季節です。春先における屋外での火の取り扱いには十分注意しましょう。

書道 (かな)



「花すすき」(麦水の句より)

村田 優子

短歌

【役場短歌会】

感性を求め短歌に指折りしこの年月の流れはやしも
交々の思いはあれど言葉なく妻に手渡すラストボーナス 中原 豊徳
幾十年の思い出せまる退職に心さびしい送別の宴 大岩 憲治
嬉しくもまた寂しくも退職の日が近づきて菜種梅雨ふる 福山 勝廣
定年の課長挨拶二度とない議政壇上に声はりあげる 農中 豊
迫本 文雄

【田浦荘短歌会】

「菜種梅雨」とう聞けば降りつづく雨も愛しく香のたつごとし 塩嶋 俊次
梅の花咲く庭先に一羽とてめじろの姿見えぬこの春 福井 朝子
梅の花一と月おくれてやと咲くもいまだに聞かぬ鶯の声 川上スエノ
ほととぎすの鳴き声まねて囃したてデイサービスの午後は賑わう 農上キミ子
待ち待ちし山辺の桜咲き始むに送迎車のなか歓声あがる 益田 直美

お誕生おめでとう

H24.3.1 ~ 3.31 受付分 (敬称略) 受付件数 11件

氏名	誕生日	性別	保護者	区
濱田 龍信	2.13	男	広 司	田浦町1
酒井 みなも	2.29	女	宗 俊	田浦町1
早川 來琉	2.29	男	新 吾	田浦町2
赤坂 悠成	3.1	男	一 幸	乙千屋
山内 優空	3.1	女	隆 雅	湯浦南
川口 遼	3.11	男	智	道川内西
山野 翼	3.12	男	賢 一	田浦2
石本 環奈	3.14	女	栄 介	高岡南
岩本 凌翔	3.16	男	英 次	立川
淵上 心陽	3.20	女	裕 太	湯南団地
木福 芽依	3.23	女	翔 吾	白木

※本町窓口へ届出をした人で、承諾を得た人を掲載しています。
町外に提出した人で、掲載を希望する場合は、役場秘書広報係までご連絡ください。

ご冥福をお祈りします

H24.3.1 ~ 3.31 受付分 (敬称略) 受付件数 22件

死亡日	氏名	年齢	区
3.1	井手口 利浩	80	白岩
3.2	宮村 安太郎	90	花岡西
3.4	宮島 重光	90	宮崎
3.4	永森 秋枝	94	白岩
3.7	松永 マツエ	90	田浦町2
3.7	馬城 ツタエ	87	湯浦東
3.9	清永 哲也	57	田浦3
3.9	山本 サツミ	83	小田浦4
3.10	大川 榮一	67	高岡北
3.11	稲崎 敏行	94	丸山
3.18	松本 益雄	90	米田
3.19	山本 トキ子	82	伏木氏
3.20	山本 勝喜	94	花岡東
3.22	村田 重雄	80	小田浦1
3.26	松崎 シキ	103	湯浦南
3.27	宮下 フジエ	98	花岡西
3.28	山下 ツギヲ	94	横居木
3.28	木山 明	89	白木
3.29	白奥 テル子	88	花岡西

※本町窓口へ届出をした人で、掲載の承諾を得た人を掲載しています。

人口の動き (H24.4.1 現在) ()内は前月比

人口	19,683人	(-102)
男	9,180人	(-45)
女	10,503人	(-57)
65歳以上	7,055人	(+12)
世帯数	7,592世帯	(-16)

編集後記

春の訪れを告げる桜が満開となり新年度が始まりました。入学した人、新社会人になった人、職場で異動があつた人、新たな目標を持つてスタートしたことと思います。▼芦北町産のクマモト・オイスターが初出荷をしました。カキはカルシウムや鉄分、ビタミンB2など海のミルクといわれているほど栄養豊富な食べ物です。町内の飲食店でこのクマモト・オイスターを食べました。口いっぱい海の潮風の香りが広がり、濃厚な奥深い甘み。一般のカキに比べ味が濃く凝縮された感じがしました。高級なカキのため熊本市内などに出荷されます。芦北漁協の八里組合長は「規格外のクマモト・オイスターを『あしきた牡蠣』として地元で食べられる食材に育ててほしい」と新たな目標を話してくれました。皆さんも応援してください。▼広報担当3年目となりました。町民の皆さまに愛される広報紙を目指し取材など精力的に取り組みます。私も新たな気持ちで広報リスタート(再出発)。また1年間どうぞよろしくお祈りします。(寺)

芦北町学校給食センター完成



安全・安心でおいしい給食をつくります

新学校給食センター落成式を3月27日、花岡東区の五本松団地奥の町有地で開催し、関係者など約100人が出席しました。

佐敷・田浦の両学校給食センターの老朽化に伴い、建設が進められていたもので総事業費5億4千465万円をかけ建設されました。鉄骨2階建ての新給食センターは床を乾燥した状態で使うように設計したフルドライ方式を採用し、熊本県内では初となる紫外線を使った空気殺菌装置を5台設置し空気中のウイルスも除菌するなど、これまでの給食センターに比べ、より衛生的で作業効率に優れた設備

を導入しました。また食物アレルギーを持った子どもに対応するため、アレルギー調理室を設置しました。

落成式で竹崎町長は「衛生管理の徹底とコスト削減、環境への配慮に重点を置いた施設が完成しました。また、炊飯施設を備え地元産米を使用した地産地消を推進します」とあいさつしました。

新給食センターでは、最大1,800食の食事に対応できます。4月から町内の4中学校、6小学校、幼稚園、支援学校（養護学校が4月1日に名称変更）に約1,500食を提供しています。



▲作業効率に優れた設備が整った調理室



▶食物アレルギーに対応したアレルギー調理室

芦北町立星野富弘美術館だより

昨年12月から募集した詩画公募展の入賞作品を展示しています。星野さんの詩画と小学生から一般の感性溢れる作品のコラボレーション。ご家族そろってお越しください。



▲中学生の部 最優秀賞 「私の靴」上田 まゆみ 五木中学校
◇「星野富弘の詩画と詩画公募展入賞作」
○期間 6月10日(日)まで
○休館日 第2・4月曜日

*問い合わせ先
星野富弘美術館
☎(86)1600

薩摩街道ふるさと湯の香ぎやらりー

湯浦活性化協議会が湯浦地区に展示している町民の皆さんが製作した作品を紹介します。

